TIAニュース やあ! ya! ya! ya! ya!

TIAは（財）栃木県国際交流協会(Tochigi International Association)の略称です。

世界遺産シリーズ vol.28　W O R L D　H E R I T A G E

〈アンコール・ワット〉6世紀から15世紀まで続いたクメール王朝の栄華を伝える石造建造物群アンコール・ワット。宗教施設であると同時に都のシンボルでもあったこれらの寺院群は、現在崩壊の危機にあり、危機遺産として登録されている。(写真提供:カンボジア政府観光局)

2004　No.89

TIA NEWS
TIA NEWS
TIA NEWS
TIA NEWS

11 NOVEMBER

AUTUMN

カメラルポ　とちぎインターナショナルフェスティバル2004

とちぎで暮らして…　リー・トンさん（カンボジア）
ようこそとちぎへ　平成16年度海外技術研修員
あんな店こんな店　パラグアイと韓国の屋台　友（チング）
海外レポート　ボリビア滞在記
トピックス　日本語ボランティア養成講座　他

財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

ホームページ■http://tia21.or.jp　メールアドレス■tia@tia21.or.jp

とちぎでくらして…Living in Tochigi

このコーナーでは在県外国人に体験談や日ごろの考えなどを話してもらいます。

リー トンさん（27歳）
Ly　Tong

プロフィール
カンボジア・プノンペン市出身。1997年に来日し東京、和歌山で勉学。現在、宇都宮大学農学部大学院で稲の研究に取り組む。趣味はバトミントンと映画。宇都宮市在住。

ーリーさん、こんにちは。日本に来たいきさつを聞かせてください。

リー　カンボジアの大学１年生のとき、日本（文部省）の奨学生に合格しました。日本で博士号を取る決意をして、来日前に大学に退学届を出しました。日本への留学が決定するまで家族には一言も話さなかったので、みんなびっくりしてしまいました。日本に来て、最初の１年は東京での日本語学習でした。翌年に和歌山工業高等専門学校物質工学科の３年生に編入し、３年間和歌山で暮らしました。

ー日本語は来日前から習っていたんですか。

▲日本留学が決まった日に家族と

リー　いいえ。東京では朝から夕方まで日本語の授業でした。漢字は特に難しいですね。その頃はストレスやホームシックで、よくカンボジアの家族に電話していました。和歌山高専時代も専門書を１ページ読むのに、１～２時間かかることもありました。

ー和歌山高専を卒業してから栃木県に来たんですよね？

リー　そうです。日本のお米は粘りと甘みがあって、すごくおいしいんです。カンボジアでは、同じ面積でも日本の半分の量しか収穫できません。今後は、カンボジアでもおいしいお米の需要が高まると思います。カンボジアでの米作りの研究は非常に重要なのです。日本に来て間もなく、将来は稲の研究をしたいと思っていましたので、教授陣がそろっている宇都宮大学農学部への編入試験にチャレンジし合格しました。来日した年、たまたま小山市でホームステイをしましたが、そのときに見た日本のきれいな水田の印象も強く残っています。

ー栃木県の生活はどうですか。

▲東北大学の水田視察

リー　カンボジアより気候的に過ごしやすいです。家賃も安いですし…。友人や大学の先生などの周りの人々も親切です。日光の紅葉も素晴らしいです。
来日した時のことですが、ラッシュアワーと男性のピアスにはびっくりしました。雪に初めて触れたときにも感動しましたね。

ー日本人になっちゃった!?と思うことはありますか。

リー　「のんびりやろう」、「大体でいいや」というのが多くのカンボジア人です。私もそうでしたが「できることはすぐにやる」、「時間を守る」、「全力を出して完璧にする」などが日本人のようになったことだと思います。まだ独身で勉学の身ですが、「自分の子どもは２人がいいな」と思うことも日本の影響かもしれませんね。

ーこれからの目標や夢を聞かせてください。

リー　宇都宮大学の修士課程の２年目ですので、来年は博士課程に進み、農学博士号を取りたいと思います。それが第一の目標です。帰国後は、大学や研究機関でカンボジアで育つ日本のように美味しくて、たくさん収穫のできる米作りの研究に尽力したいと考えています。また、日本人のように自然に日本語を話す外国人をテレビで見て羨ましく思うんですが、これからも日本語の勉強も続けて、日本人の日本語に限りなく近づきたいとも思っています。

第8回　わいわい地球っ子クラブ ～アンコール カンボジア～

小学生のための国際理解クラブのイベントが、９月11日（土）にとちぎ国際交流センターで開催されました。今回のテーマはカンボジア。宇都宮大学の留学生リー・トンさんとその友人、カンボジアの子どもたちを支援している「カンボジアっこ支援の会」の皆さんが協力してくれました。

リー・トンさんたちからは、カンボジアの言葉、遊び、踊りなどを教えてもらい、会場は盛り上がりました。また、カンボジアっこ支援の会からは、写真パネルで活動を紹介してもらい、参加者はカンボジアの子どもたちの様子を知ることができました。最後に、カンボジアの有名なデザート「ノムロパウ（カボチャプリン）」を試食しました。

ちなみに「カンボジア」と「カボチャ」って、発音が似ていると思いませんか!?カボチャは、今から約450年前、カンボジアを経由して日本にやってきました。カンボジアが訛り、カボチャになったという説もあります。現在、私たちが家庭で食べているものの大半は西洋カボチャで、カンボジアから伝わったものではありません。

ようこそとちぎへ！ Welcome to Tochigi

平成16年度の栃木県海外技術研修員６名が８月２日に、JICA草の根技術協力事業研修員１名が８月31日に来県しました。７名は日本語研修を修了し、現在各研修機関で専門研修をしています。来年３月中旬に帰国予定です。

①氏名　②性別　③国籍　④生年月日　⑤推薦機関　⑥研修科目
⑦研修機関　⑧趣味　⑨日本で一番やりたいこと

栃木県海外技術研修員

①サルチャー マンダルフー　②女　③モンゴル　④1972年４月28日　⑤JICA　⑥幼児教育　⑦マリア幼稚園　⑧音楽・読書　⑨海の水族館とディズニーランドに行くこと

①横田 ヘンリッケ 浩　②男　③ブラジル　④1978年４月13日　⑤在伯栃木県人会　⑥電気工学　⑦東京電力 栃木支店　⑧ヘリコプターのプラモデル作り　⑨日本文化を学ぶこと

①沢里 デニス 誠　②男　③ブラジル　④1977年7月9日　⑤在伯栃木県人会　⑥体育　⑦小山南高校、とちぎ健康づくりセンター　⑧スポーツ　⑨日本人の友達を作ること

①莫　文　②女　③中国　④1966年４月15日　⑤中国浙江省　⑥リハビリテーション　⑦とちぎリハビリテーションセンター、野沢養護学校、総合教育センター　⑧読書　⑨日本料理の作り方と日本の育児方法を学ぶこと

①韓　立　②男　③中国　④1977年３月９日　⑤中国浙江省　⑥環境政策　⑦環境政策課　⑧サッカー、音楽　⑨日本語が上手になること

①毛　雪琴　②女　③中国　④1976年9月24日　⑤中国浙江省　⑥農業環境技術　⑦農業試験場　⑧旅行　⑨日本の冬に沖縄を旅行すること

JICA 草の根技術協力事業研修員

①コロマ アブラハム ムンバ　②男　③ザンビア　④1965年３月21日　⑤JICA　⑥理科教育　⑦矢板東高校　⑧友人と経験や知識を共有すること　⑨パソコンと車の運転

あんな店こんな店

パラグアイと韓国の屋台　友（チング）

宇都宮の新名所「屋台横丁」に今年の６月にオープンした「友（チング）」は、パラグアイと韓国の料理を楽しめる居酒屋だ。店を切り盛りするのは、林京徹さん（韓国）と奥様のルイーザさん（パラグアイ）。林さんが20年以上前にパラグアイに行った際に、現地で知り合ってご結婚されたそうだ。その後、パラグアイでレストランを経営していたが、縁あって林さんが日本に来ることになり、日本での仕事についてパラグアイでのレストラン経営の経験を活かしたいと考えていたところ、この「屋台横丁」の企画を知って出店を申し込んだ。そしてルイーザさんも来日した。

「お店の名前のチングは、韓国語で“友だち”の意味です。パラグアイと韓国の両方の料理が楽しめるのは珍しいと思います。ここは国際交流もできる居酒屋です。外国の方も大歓迎」と話す林さん。おすすめ料理は、パラグアイ料理は塩焼きステーキ（700円）、ミラネサ・デ・ポーリョ（鶏肉を揚げたもの400円）、マリネラ・デ・カルネ（牛肉を揚げたもの650円）、韓国料理は石焼ビビンバ（700円）、チジミ（450円）、冷麺（700円）、プルコギ（500円）などがある。また、アルコール・ファンなら、韓国のアルコール飲料である焼酎「マッコリ」、ビール「OB」・「ハイト」、ダイエットに良いというラズベリーワインもぜひ試してみたい。

▲林さん（右）とルイーザさん

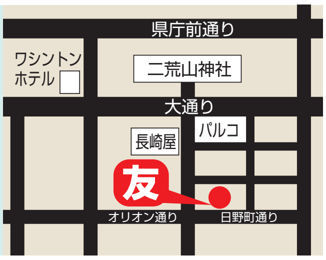
「ちょっと懐かしい昔風の屋台で、一度来ると気に入ってくれてまた来るお客さんも多いです。韓国語やスペイン語の勉強もできますので、皆さんぜひ来てください」。

▲パラグアイ料理の塩焼きステーキ

▲韓国料理の石焼ビビンバ

パラグアイと韓国の屋台　友（チング）

営業時間　17：00～翌日3：00
定 休 日　無休
住　　所　宇都宮市二荒町1-6
ＴＥＬ　028-634-0601



とちぎインターナショナルフェスティバル2004

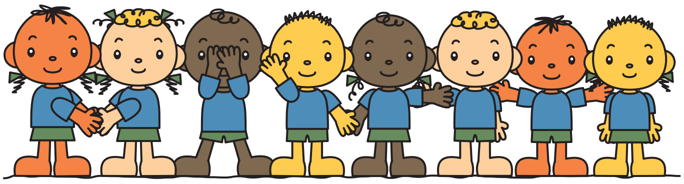
カメラルポ

10月９日（土）、栃木県子ども総合科学館で、毎年恒例の「とちぎインターナショナルフェスティバル2004」を開催しました。今年で15回目を迎えます。

今回は、台風22号の影響で、屋外テントで実施する催し物を中止し、多目的ホール内の催し物だけとなりました。悪天候にもかかわらす、会場に900名が訪れ、ステージでの音楽や踊りを鑑賞したり、また会場内の国際交流団体等の各ブースを見て回って楽しみました。

◀世界の子どもの遊びで子どもから大人まで参加

県内の国際交流団体等が活動内容を紹介



▲ネパールの生活用品展示で実際に触ってみる

▲風船を地雷に見立て、地雷体験ゲームを行う

▲ JICA（国際協力機構）の活動紹介ブース

▲アンデス・アジアの民芸品をよ～く観察する来場者

▲カンボジアの子どもたちへの支援活動パネル展とカンボジア製品の販売

▲「茶道」に挑戦するも、足が痛くて正座が・・・

▲ステキなバングラデシュ手工芸品に来場者も興味津々

▲栃木県が友好交流を行っている中国・浙江省、フランス・ヴォークリューズ県、アメリカ・インディアナ州を紹介

▲フラワーアレンジメントの講習会に子どもも参加

▲津軽三味線で日本の伝統音楽を披露した対馬晴山会のメンバー

▲両手のろうそくに火を灯し、バランスをとりながら踊るスリランカ舞踊

▲来場者と一緒にストリートチルドレンについてロールプレイングを行う

▲頭に茶碗を乗せ内モンゴルの踊りを披露（那須大学留学生）

歌あり、踊りあり、音楽ありの感動のステージ!

▲アカペラで内モンゴルの美しい歌を歌う（那須大学留学生）

▲リズムキッス・アミーゴスによる南米のフォルクローレの演奏に踊りも加わり会場も盛り上がる

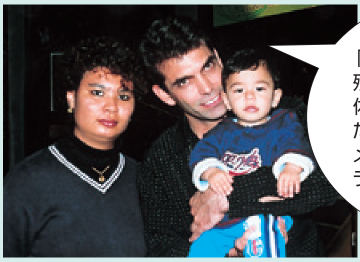
▲鮮やかな民族衣装に身を包み、馬頭琴の調べに合わせ内モンゴルの歌を歌う（那須大学留学生）

▲楽しいトークと紙切り芸で会場を沸かせた黄瀬康雄さん。

来場者から“ひとことメッセージ”

「毎年、フェスティバルを家族で楽しんでいます」花塚さんファミリー（宇都宮市在住）

「着物はきついけど、きれい。茶道は難しい…でも美しい」ブロンさん（ニュージーランド、宇都宮市在住）



「今年は食べ物がなくて残念です。茶道を初めて体験しました。足がしびれたけれど、楽しかったです」メヘティさんファミリー（イラン、芳賀町在住）

SPECIAL THANKS

▲事業所体験で10月7日～9日の3日間、TIAで研修した石橋高校１年生の水谷さん(左)と舘野さん(右)。フェスティバルの用意などでお世話になりました。ご苦労様！

主　催　財団法人栃木県国際交流協会
共　催　ＪＩＣＡ東京国際センター　財団法人とちぎ青少年こども財団
後　援　栃木県、栃木県教育委員会、栃木県市長会、栃木県町村会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、下野新聞社、ＮＨＫ宇都宮放送局、栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ、宇都宮ケーブルテレビ
協　賛　(財）あしぎん国際交流財団
協　力　アジアの問題を考える会、あっぷる国際交流会、あわのフラワーＦＣ、いっくら国際文化交流会、宇都宮ＳＧＧクラブ、宇都宮ユネスコ協会、大平町日中友好協会、小山国際交流会おいふぁ、小山市国際交流協会、開発教育ネットワーク、カンボジアっこ支援の会、喜連川日中友好協会、グローバルグループ、言語交流研究所ヒッポファミリークラブ、けんちんの会、交流会「仲間」、国際ソロプチミスト宇都宮、国際パガサの会、シャプラニールとちぎ架け橋の会、世界平和女性連合栃木県本部、栃木インドネシア友好協会、栃木県海外移住家族会、栃木県台湾友好会、栃木県青年海外協力隊ＯＢ会、栃木県日韓女性親善協会、(財)とちぎＹＭＣＡ、モンゴル交流協会ナイラムダル、栃木県ペタンク協会、那須大学、リズムキッス･アミーゴス、対馬晴山会、フラメンコスタジオ カペルシータ･ロハ、米国インディアナ州駐日代表事務所

TIA トピックス

海外キラリ体験4days　第1回

9月25日（土）、とちぎ国際交流センターで、中学生のための国際理解セミナー「海外キラリ体験４days」を、クラブ・リセと合同で実施し、中学生８名、高校生12名が参加した。

第１回目の今回のアクティビティは、青年海外協力隊員による活動報告と異文化疑似体験ゲーム。活動報告では、グァテマラで婦人子供服を教えた石塚利子さんと、ボリビアで保育士として活動した尾島紀子さんの２名が、写真を見せながら貴重な体験を語った。

また、異文化疑似体験ゲームでは、参加者が、それぞれ独自の文化をもつ２つの国に分かれ、お互いの文化の違いを体験するゲーム「バファバファ」を行った。皆、相手の国の文化に戸惑いながら、異文化を理解するために一所懸命だった。

◀異文化体験ゲーム「バファバファ」を行う参加者

フィリピン文化を体験しよう！

フィリピンの料理を通して文化を学ぶ「第２回フィリピン文化を体験しよう！」（国際バガサの会主催）が、９月25日（土）にとちぎ国際交流センターで実施され、15名が参加した。

▶会話を楽しみながらフィリピン料理を作る

料理は、フィリピンの家庭料理である、ビーフンを使った野菜と海の幸のコンビネーション「パンシット」と、フルーツを生クリームとコンデンスミルクで和えた「フルーツサラダ」の２つ。タガログ語と日本語が飛び交う中、参加者全員が調理を楽しみ、作った料理を堪能した。

なお、11月20日（土）に「フィリピン語講座」、12月18日（土）に「フィリピンのクリスマス」を実施する。申込みはTIA（TEL 028-621-0777）まで。

日本語ボランティア養成講座

日本語を教えているボランティアの技術向上と、地域で核となるボランティアリーダーを養成するための「日本語ボランティア養成講座」を、８月28日から10月２日までの土曜日計６回、小山市コミュニティセンターで実施した（参加者36名）。

講師は、宇都宮大学・作新学院大学非常勤講師の石川美和氏。日本語の概観、日本語を教えるための心得をはじめ、日本語初級者・中級者へ教える際に必要な教科書とその指導法、教具や教材作成について説明した。

９月18日には、栃木タイムズの鈴木美恵子氏を招き、外国人に関する新しい法律や制度、相談を受けた際の対応方法等について、ボランティアを通して得た経験を話していただいた。

◀日本語の指導法について学ぶ参加者たち

ペタンク日仏交流会で熱い戦い!

栃木県と友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県から、栃木県女性の海外研修団のホームステイに協力しているプロヴァンス・ジャポン協会の会員４名が８月17日～26日の10日間来県した。

滞在中の８月24日（火）、栃木県総合運動公園で、南仏発祥のスポーツである「ペタンク」の交流会を実施し、とちぎ・プロヴァンス協会（中西幸子会長）及び栃木県ペタンク協会（松本光会長）の会員、また日仏高校生派遣事業で訪仏した県内高校生を含めた約50名が参加した。

ペタンクは初心者でも楽しめるスポーツ。試合前に少し練習しただけで、上手になる人も。暑い中で熱い戦いが繰り広げられ、ペタンクを通して友好交流の輪が広がった。

▶本場南仏の投球技術を披露したフランス人

もっと知りたい！日本語ボランティア

７月10日（土）、とちぎ国際交流センターで、外国の方に日本語を教えるボランティアを行っている方を対象としたセミナー、「もっと知りたい！日本語ボランティア」を実施した。

▶日本語を教える際の問題点について話し合う田中はるみ氏（中央）

講師は、宇都宮大学で非常勤講師をしている田中はるみ氏。日本語の指導の際によく出る疑問・質問・問題点を中心に、事例やビデオを用いながら分かりやすく説明したり、絵教材を利用した日本語指導法をグループ作業で検討した。また、情報交換会では、各地域で実践しているボランティアの内容を話し合った。

セミナーには定員を上回る57名が参加した。

Club lycée　クラブリセ

「アメリカ高校生との交流会＆ワークショップ」

７月27日（火）、高校生のための国際理解クラブ「クラブ・リセ」第18回ミーティングとして、（財）とちぎYMCAが招聘したアメリカ東海岸のYMCAに所属する高校生14名との交流会とワークショップを実施し、栃木県の高校生27名が参加した。

交流会では、グループに分かれて、若者が使う表現を英語と日本語でお互いに教えあったり、一つの英文に続けて英語でストーリーを作る「英文ストーリー作成ゲーム」を行った。また、アメリカの高校生たちから楽しいゲームも教わった。

一方ワークショップでは、グループがデジカメを持って宇都宮市の街中に行き、アメリカと同じもの・違うものを撮ってきて、それぞれ発表した。

◀足を踏まれたほうが負け！アメリカのゲームで盛り上がる

ボリビア滞在記

by　佐藤玲子
（JICA 国際協力推進員　栃木デスク）

▲世界最高所の首都「ラ・パス」

スーツケースを持ち上げただけで“くらっ”っとくる。ちょっと歩いただけで心臓がバクバクして息が切れた。食事を少しとっただけでも、心臓がドキドキした。

9月4日～14日までの11日間、JICA（国際協力機構）が実施する青年海外協力隊などのボランティア事業の調査団として、ボリビア共和国に栃木県等の自治体職員５名が派遣された。

ボリビアは南米大陸のほぼ中央、アンデス山脈の真ん中に位置する。首都「ラ・パス」は高度3,650mの世界最高所にある首都として知られている。

▲病院に来た母親と談笑する福富さん

国土の３分の１近くをアンデス山脈が占め、一年中雪をかぶった6000m級の山々が眩しいほどに真っ青な空に広がっている。

ラ・パスは、大きなすり鉢状をしており、底の方には高層ビルが建ち並び、その周辺には大使館や高級住宅街がある。すり鉢の坂を登っていくと、レンガとは呼べないような土壁でできた小屋のような家がぎっしりと並んでいる。ここはエル・アルトと呼ばれる町で、ラ・パス周辺の地域から職を求めて移り住んできた人たちが住んでいる。貧富の差が大きいのもボリビアの特徴の一つである。

ここラ・パスで、青年海外協力隊員の看護士として活動している宇都宮市出身の福富規子さんは、活動を始めてから１年ほど経つ。福富さんの活動先であるラ・パス市母子保健センターには毎日多くの人が訪れるが、ここに来ない母親もたくさんいる。健康チェックを受ける習慣がないのが問題だと福富さんは言う。

ボリビアで活動するJICAボランティアは青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会支援の２ボランティアで計128名いるが、皆スペイン語を流暢に話し、現地に溶け込んでいた。

ボリビアにはもちろん低地もある。調査団は日系社会で働くボランティアを視察に、「サンタ・クルス」という低地の都市へ行ったが、降り立ったとたん、今までの高山病がうそのようにすーっと消えた。おもいっきり胸を広げて空気を吸い込んだ。空気がこんなにもおいしいものだなんて、今まで思いもしなかった。仕事の後の夕食に飲んだビールが最高だった。

▲調査団員の向けたビデオカメラを見る子どもたち

栃木県生活環境部国際交流課職員
石川　雅之さん

今　回、JICA（国際協力機構）のボランティア事業調査団員としてボリビアに行ってきましたが、現地で取材をしたボランティアの皆さんが、とても積極的で前向きに活動していたのが印象的でした。ボリビアは貧富の差が激しく、草の根レベルで活動するJICAボランティアは、ボリビアの発展に大きく貢献しているのを感じました。

また、日系社会を視察する機会がありましたが、日系社会がボリビアの人たちから大きな信頼を受けていることを聞き、１世、２世たちの築いてきたことが、日系社会の発展だけではなく、ボリビア社会の発展にもつながっていることに感銘を受けました。

遠く離れた南米の地で活躍している本県出身の方々の今後の更なるご活躍を期待しております。

宇都宮↔成田空港

（直通高速バス・マロニエ号　毎日10往復）

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分！

●柳田に専用駐車場（210台）完備　1日200円

●運賃 大人片道 4,070円 小人2,040円

●鹿沼インター入口のみ 3,900円 小人1,950円

成田空港行										
柳田（柳田大橋西）発	4:20	4:50	5:50	6:35	8:05	9:15	10:35	12:05	13:35	15:05
JR宇都宮駅発	4:40	5:10	6:10	7:00	8:30	9:40	11:00	12:30	14:00	15:30
鹿沼インター入口発	4:57	5:27	6:27	7:19	8:52	10:02	11:22	12:52	14:22	15:52
成田空港着	7:30	8:00	9:00	9:50	11:20	12:30	13:50	15:20	16:50	18:20

鹿沼・宇都宮行										
成田空港発	8:10	9:40	11:10	13:10	14:40	15:40	17:00	18:10	19:40	20:50
鹿沼インター入口着	10:38	12:08	13:38	15:38	17:02	18:02	19:28	20:43	22:13	23:23
JR宇都宮駅着	11:00	12:30	14:00	16:00	17:30	18:30	19:50	21:00	22:30	23:40
柳田（柳田大橋西）着	11:20	12:50	14:20	16:20	17:50	18:50	20:10	21:15	22:45	23:55

●お問合せ・ご予約は成田空港行予約センター
☎(028)638‑1730

関東バス

SHIOBARA RESORT
KAMOSHIKA SO
かもしか荘

12月・1月
冬のあったかプラン　8,000円（税サ込）～

1月～3月
湯治プラン3泊6食付　20,000円（税サ込）～

冬季限定プラン等、詳細は下記までお電話下さい。

☎0287-32-2525　http://www.kamoshika.com

※ 掲載広告を募集しています。詳しくは協会までお問い合せ下さい。

わいわい地球っ子クラブ会員募集!!

小学３～６年生のための国際理解クラブ「わいわい地球っ子クラブ」では、会員を募集しています。今年度はあと12月と３月の２回です。なお、年会費は下半期分500円です。

次回の活動内容は…？

日時：12月11日（土）
場所：とちぎ国際交流センター
内容：いろいろな国の人とクリスマス・パーティーを楽しみます！
※お申込はＴＩＡまで。

▶昨年実施した「わいわいクリスマス」

全国中学生作文コンテスト栃木県大会レポート

9月21日（火）、とちぎ国際交流センターで、第44回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県審査会を実施しました。

応募作品の中から、松本紗歩さん（宇都宮短期大学附属中学校１年）と岡本温美さん（高根沢町立北高根沢中学校３年）の２名が優秀賞に輝きました。松本さんは「世界平和と国連」と題し、ユネスコ活動体験や世界寺子屋運動について綴りました。一方岡本さんは「私たちが拓く未来の国連」と題し、第二次世界大戦後に誕生した国連についてよく理解する重要性を語りました。

上記２名の他、優良賞に３名、佳作に5名が選ばれました。

いっくら日本語スピーチコンテスト出場者募集

■期日　2005年1月22日（土）
■場所　宇都宮大学　大学会館
■対象　県内在住の外国人(15歳以上)
■演題　「住みよい街」「住んでみたい街」のテーマに沿った内容に、独自のタイトルを付ける。
■参加方法　①申込書②スピーチ原稿③5分以内のスピーチ録音テープ（名前・タイトルを先に録音）の3つを下記に送付。
■送付先　いっくら国際文化交流会事務局　長門芳子宛　〒320-0065　宇都宮市駒生町3351-50
■応募締切　12月25日（土）必着
※選考の上、出場者12名を決定し、1月7日までに通知します。
■問合せ　眞田　TEL028-635-0839

栃木県国際交流協会 事業案内　Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業
在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が応対

■機関紙の発行・情報提供
TIAニュース「やぁ！」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会
国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク
ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク（ＴＣＮ）
在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

＊この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。
＊とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

＜新規賛助会員の方々＞

個人：横山貴之様、新島ちはる様
　　エリオット・アマンダ様
　　スミス　サワヤンニ様
団体：日東広告企画開発機構様
～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄付金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等のご出捐をお願いいたします。

TIAホームページでは、国際交流イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。http://tia21.or.jp

第78回定期演奏会
栃木県交響楽団
2004年12月26日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール

〈ハープ〉
早川りさこ

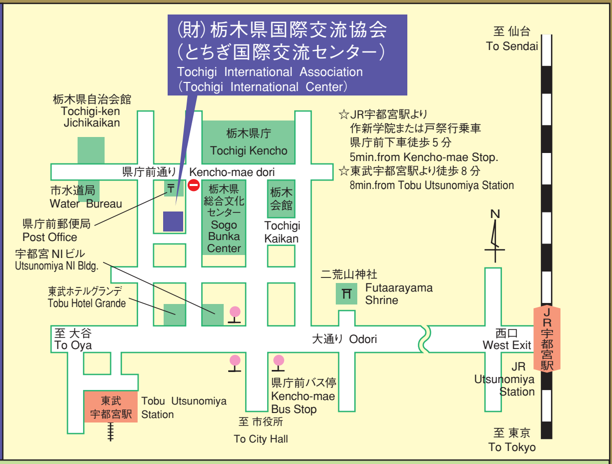
〈演奏曲目〉
● モーツァルト
フルートとハープのための協奏曲
● チャイコフスキー
イタリア奇想曲　ほか

〈指　揮〉早川　正昭

〈フルート〉
さかはし矢波

全自由席　￥1,500円　プレイガイド・チケットぴあ
お問い合わせ　栃響事務局☎028-643-5288

ＴＩＡご案内図



編集・発行　財団法人栃木県国際交流協会
住所　〒320－0033 宇都宮市本町９－14 とちぎ国際交流センター内
ＴＥＬ　028－621－0777（代表）028－627－3399（相談専用）
ＦＡＸ　028－621－0951
業務時間　8：30～17：15
休館日／日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から１月３日